



# 惜陰の子ら

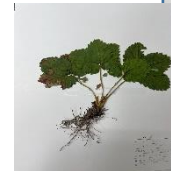
令和6年9月  
鯖江市惜陰小学校  
学校だより NO.13

ヘチマの花と実です。

## 夏休みの宿題・思い出

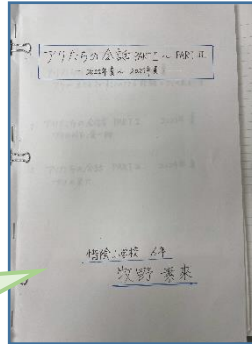
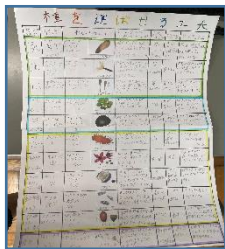
暑い日が続き、採集は大変だったでしょう。

4年生から6年生は理科の自由研究に取り組みました。植物標本、動植物の観察記録、「なぜ？」という身近な疑問について調べたり実験したりした研究などの作品が第2理科室に展示されていました。イラストや写真、グラフを活用した作品はどれも見ごたえがあり素晴らしかったです。



植物採集

山本琉聖



絵の中から楽しかった思い出があふれていました。



アリについて3年間研究を続けました。

先日訪問した SDGS センターから関本さん、サマンサさんに来ていただき、SDGS について学習を深めました。SDGS の17 の指標のうち、日本の課題は6項目あります。その中で特に深刻な課題である、5:ジェンダー平等と13:気候変動対策について、お二人から話を聞くことができました。特に、サマンサさんの出身国カナダと日本のジェンダーの考え方の違いが興味深かったです。

## 4年生 SDGS 環境学習



## 教育実習生の授業を参観 実習も2週間が

経ち、教育実習生の授業が始まりました。授業前はもちろん、授業後の研究会でも、指導教官や参観した先生から、たくさんの助言をいただき、研鑽を重ねています。

## 校庭の芝がきれいになりました

9月15日(日)に、本校の元校長、片山先生をはじめとするボランティアの方々が、校庭の芝刈りをしてくださいました。



## 6年 ブックトーク～

まなべの館の司書の方に、テーマ「宮沢賢治」に関連する、絵本や詩集、図鑑などを紹介していただきました。その他にも宮沢賢治に関係のある本を80冊ほど持ってきてくださいました。



## 中秋の名月



9月17日は「中秋の名月」(十五夜)です。「中秋の名月」とは、旧暦の8月15日に出る月のことを指しています。なぜ、夏真っ盛りの8月15日に出る月のことを「中秋の名月」と呼ぶのでしょうか。それは、現在とは違い旧暦では、7月から9月を秋としており、中間にあたる8月のことを「中秋」と呼んでいました。そのことから「旧暦の8月15日に見られる月」のことを「中秋の名月」と呼ぶようになったそうです。ちなみに「中秋の名月」の日は年によって違います。2023年は9月29日、2022年は9月10日と、2週間以上も違うのは、中秋の名月が旧暦をもとに決められているからです。また、お月見のお供えといえやお月見団子ですが、昔はサツマイモや豆を供えて、収穫への感謝をしたそうです。

## 5年生 プレゼンテーション発表会!!

9月26日(木)～27日(金)の1泊2日の日程で、5年生は宿泊学習に出かけます。宿泊場所となる、芦原青年の家や、そこで体験する活動について、各グループで調べ、ロイロノートを活用してプレゼン資料を作りました。プレゼンテーションクリエイターである、前田鎌利さんが来校した日に、プレゼン発表会を行いました。プレゼンを見たり聞いたりして、「?」と思ったことを質問してもらったことが、よりよいプレゼンづくりにつながるそうです。発表の後は鎌利さんからもたくさんのアドバイスをいただきました。



会議室でお宝を発見し、興奮気味の鎌利さん。

Q: 鎌利さんが惜陰小学校に来た理由…

A: ご自身のYouTubeチャンネル「ブラカマリ」で母校訪問の撮影をするためです。これまでも、鯖江のいろいろな場所を紹介しています。

## お宝発見 日下部鳴鶴の書

「明治の三筆」と称された近代日本の代表的書家である、日下部鳴鶴(くさかべめいかく)の書が、惜陰小学校の会議室に飾られていました。母校訪問で校内を撮影していた、本校出身の書家、前田鎌利さんが偶然発見したものです。書には本名「東作」や「明治夏六月」など示されており、彼の活躍した時代から考えても「本物」だと推測されるそうです。(鎌利氏曰く) 皆さんも会議室に本物を見に行ってください。

